

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
EU41C401		障害児心理のアセスメントと事例研究(Psychological Assessment and Case Study for Children with Disabilities)					高度専門科目										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	1	教育学研究科	前期		氏名 佐藤晋治 E-mail ssato@oita-u.ac.jp 内線 7531											
授業の概要	障害児心理のアセスメント、特に知的機能のアセスメント、行動論的な観点からのアセスメント、適応機能や感情の特異性に関するアセスメントの具体的な方法や意義について理解を深める。また、アセスメントの結果を踏まえて、障害特性に応じた指導法をどのように構成していくのか、その考え方と実際の指導事例の研究を行う。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 障害児心理のアセスメントの具体について説明できる。																	
目標2 障害児心理のアセスメントに基づいて、個々の障害特性に応じた具体的な指導計画を構想することができる。																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 知的障害児の心理アセスメントの具体：知能・認知機能のアセスメント WISC-																	
2 障害児心理のアセスメントの具体：知能・認知機能のアセスメント KABC-																	
3 障害児心理のアセスメントの具体：知能・認知機能のアセスメント DN-CAS																	
4 障害児心理のアセスメントの具体：行動論的アセスメント A B C 機能分析																	
5 障害児心理のアセスメントの具体：行動論的アセスメント M A S																	
6 障害児心理のアセスメントの具体：行動論的アセスメント 援助 - 援護 - 教授																	
7 知的障害児の心理アセスメントの具体：適応機能のアセスメント																	
8 障害児心理のアセスメントの具体：感覚の特異性に関するアセスメント																	
9 特別支援学校における知的障害児の心理アセスメントに基づく教科指導の構想																	
10 特別支援学校における知的障害児の心理アセスメントに基づく自立活動の指導の構想																	
11 特別支援学級における知的障害児の心理アセスメントに基づく教科指導の構想																	
12 特別支援学級における知的障害児の心理アセスメントに基づく自立活動の指導の構想																	
13 通級指導教室における障害児心理のアセスメントに基づく指導の構想																	
14 通常の学級における知的障害児の心理アセスメントに基づく教科指導の構想																	
15 通常の学級における知的障害児の心理アセスメントに基づく行動面に関する指導の構想																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	演習、小レポート、予習、復習、宿題、調べ学修(論文、書籍、インターネット等)、					工夫 その 他の	動画の活用、LMS(Moodle)の活用									
	B:意見の表現・交換	学び合い、教え合い、															
	C:応用志向	プレゼンテーション、学びの省察、															
	D:知識の活用・創造																
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	Moodleで予習し、必要に応じて、論文、書籍、インターネット等により「調べ学修」に取り組むこと(計10時間)															
	事後学修	授業で学修した内容を振り返り、授業で扱った内容や関連する課題について論文、書籍、インターネット等により「調べ学修」に取り組むこと(計15時間)															
教科書	教育臨床の実際第2版、武内珠美・渡辺巨・佐藤晋治・溝口剛、ナカニシヤ出版、2018年、ISBN978-4779512810																
参考書	必要に応じて最新のものを紹介する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	討論などへの積極的な参加度	60%															
	最終レポート	40%															
注意事項	授業中にMoodleを使用することもあるので、Moodleを閲覧できる媒体(スマホ、タブレット端末、ノートPCなど)を持参すること。また少なくとも週に1度はMoodleのこの科目のページを閲覧し、準備学修、事後学習に活用すること。																
備考	特になし。																
リンク	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	臨床心理士、学校心理士
実務経験を いかした教 育内容	学校臨床，発達臨床の実務経験に基づいて，障害のある児童生徒とその子どもを取り巻く環境との関係等を踏まえた具体的なアセスメントと支援に関する指導を行う。